

第12回 コミュニケーション教育研究会 議事録

日時：平成20年6月12日（木） 16:40-18:30

場所：湘北短期大学 1号館 128教室

参加者：藤沢高校 佐藤 明宏先生；川崎総合科学高校 原 満先生、高木 誠先生；
有馬高校 小林 久美子先生

湘北短期大学 伊藤、岩崎、小野目、小泉、田村、藤澤、小棹（敬称略）

配布資料：

1. 第11回コミュニケーション教育研究会 議事録案
2. アンケートたたき台

議事：

1. 第11回コミュニケーション教育研究会の議事録を再確認、修正の上、承認した。
（接続講座は同一内容を2回開催する、単位化はリベラルアーツセンター会議にて検討中）
2. アンケート内容について
配布案をもとに議論を行った。
 - アンケート設問Cの意図を確認した。
「職業人」を育成するという前提で「社会人基礎能力」を問う設問。
 - 追加項目キーワードとして
グローバルな観点がない
議論をさける
忍耐がない（我慢しない）
体力がない
知的体力がない
などがあげられた
 - 項目15と16、項目19と20の差別化を検討
 - アンケート項目Dは、大学との関連で高校における問題点を問う設問。
 - 追加項目キーワードとして
偏差値のみで評価を行う
文系・理系を早い時期で分けてしまうため選択科目に偏りを生じる
各校で特色を出そうとしたため選択科目が多すぎる
などがあげられた
 - 予備調査として、センター長名で学内教員に向けアンケートを実施する（内容は設問項目Cをベースとして作成）
*7月までにメールやFAXで案を検討、7月度研究会にて確認
3. フォーラム開催に関して
 - フォーラムの最終結論をどうするか
「高等教育における問題は（中）高大連携で解決できる」
「高大連携で現代型人材の育成をめざす」
など
 - 講演者候補
田村先生ご紹介 DVD
栗城 史多（26歳）、ソロアルピニスト 世界7大陸最高峰単独登頂の挑戦中。
経営者のセミナーなどで講演経験多数
*7月研究会に最終案提示

4. その他

(1)高校長あて参加要請が必要な高校に対してセンター長名で文書を発行する。要・不要は直接各校担当者あてに FAX 等で問い合わせる。

(2)今回出欠の返事が大幅に増加した。

次回開催予定

平成 20 年度第 3 回（第 13 回） 7 月 17 日（木） 16:40～18:10

湘北短期大学 128 教室

議題： アンケート内容決定

フォーラム内容決定

受講生の効果検証

以上

[修正資料]

*都道府県名 :
*公立・私立 (いずれかに○)
*高校名 :
記入者(役職):

*必須記名項目

記入者は無記名でも結構ですが、アンケート結果は記入者宛お送りいたします

	アンケート設問A キャリア教育の中で下記基礎能力はどの程度必要と思われますか。 ここでは各能力の定義を設けていませんので、ご自身でそれぞれの能力を想定の上、ご回答ください。	大いに必要	やや必要	どちらとも 言えない	やや不要	まったく不要
a	一般常識					
b	コミュニケーション能力(他人の意見を聞き自己の意思を伝えることのできる能力)					
c	ビジネス文書力					
d	英語基礎力					
e	PC基礎操作力					
f	ビジネスの理解					
g	就労意識					
h	課題発見能力					
i	専門知識・技能					
j	企画・提案能力					

	アンケート設問B 高校卒業時に生徒は下記基礎能力をどの程度身につけていると思われますか。 ここでは各能力の定義を設けていませんので、ご自身でそれぞれの能力を想定の上、ご回答ください。	十分である	ほぼ十分	どちらとも 言えない	やや不十分	不十分
a	一般常識					
b	コミュニケーション能力(他人の意見を聞き自己の意思を伝えることのできる能力)					
c	ビジネス文書力					
d	英語基礎力					
e	PC基礎操作力					
f	ビジネスの理解					
g	就労意識					
h	課題発見能力					
i	専門知識・技能					
j	企画・提案能力					

	アンケート設問C 高校で生徒と接しておられる中で、下記のような点を問題であると感じられるでしょうか。それぞれの項目に対して、「そう思う」、「どちらかといえばそう思う」、「どちらとも言えない」、「どちらかといえば違うと思う(そうではない)」、「まったくあてはまらない」、の中からお選びください。	そう思う	どちらかといえば そう思う	どちらとも言えない	どちらとも言えない 違うと思う	あてはまらない まったく
1	指示されないと行動できない					
2	知識・技術獲得に積極的にはたらない					
3	自分が嫌なことは実行しない					
4	周囲と協力・協働しようとししない					
5	周囲に協力・協働を呼びかけられない					
6	議論を避ける*					
7	自分で目標を設定できない					
8	困難を乗り越えようと努力しない					
9	忍耐力がない(我慢ができない)*					
10	現状を把握して分析しようとししない					
11	問題点を見つけようとししない					
12	課題を明確にすることができない					
13	問題解決の手順や方法を考えられない					
14	複数の選択肢から問題解決の最適案を選択できない					
15	新しい発想ができない					
16	異なる面から考えることができない					
17	ポイントを整理してから話をしない*					
18	順序立てて話ができない*					
19	相手の立場を考えて話ができない					
20	他人の意見ややり方に聴く耳をもたない*					
21	グループの中で、自分の役割や使命が自覚できない					
22	社会のルールやマナーを守れない					
23	グローバルな観点がもてない*					
24	約束ごとや時間を守れない					
25	体力がない*					
26	ストレスに弱い					

	アンケート設問D 大学への進学を考えている生徒と接する中で、下記のような点を問題であると感じられるでしょうか。それぞれの項目に対して、「そう思う」、「どちらかといえばそう思う」、「どちらとも言えない」、「どちらかといえば違うと思う(そうではない)」、「まったくあてはまらない」、の中からお選びください。	そう思う	どちらかといえば そう思う	どちらとも言えない	どちらとも言えない 違うと思う	あてはまらない まったく
1	無目的・無目標のまま大学に入学する生徒が多い					
2	高校で学んだことと大学で学ぶべき内容との関連性が理解できない					
3	基本的な知識が身につけていない生徒が多い					
4	学力の二極化が進んでいる					
5	収入格差が学力格差を生んでいる					
6	必要な場合に経済的な支援を行うシステムがない					
7	偏差値のみで評価をする*					
8	早い時期に文系・理系で分けてしまうため選択科目に偏りを生じる*					
9	選択科目が多すぎる*					
10	親が高等教育を理解しないことが多い					

その他高校教育で、大学に入学する際に問題と思われることは何でしょうか、自由にお書きください。